

0歳のお子様から
親子でいっしょに楽しめる

ソプラノ
西口彰子
©伊藤一平

0歳からの オーケストラ コンサート

おむつ替え・授乳のスペースをご用意しております

子どもから大人まで楽しめるプログラムです

ズブーカーの置き場所
「いざこます」

- 「アンパンマンのマーチ」
- ビゼー:「アルルの女」第2組曲から“メヌエット”
- ドヴォルザーク:スラブ舞曲集第1集から第1番
- プッチーニ:歌劇「ジャンニ・スキッキ」より「私のお父さん」
- シュトラウスⅡ:「春の声」作品410
- チャイコフスキー:『くるみ割り人形』から“行進曲”“あし笛の踊り”
- “トレパック”“花のワルツ”
- 「鉄腕アトム」
- ほか



2025
10 | 5 日

宮松重紀 指揮

東京21世紀管弦楽団

■ チケット料金(税込) 全席指定—大人:2500円(友の会2,000円)
子ども:1000円(3歳~高校生まで)
2歳未満:保護者1名につき膝上1名無料(※要座席の場合は有料)

■ チケットのお求め 発売日 2025年6月1日(日) 窓口10:00 電話予約13:00

- 小山市立文化センター 0285-22-9552
- 小山市立生涯学習センター(ロブレ6階) 0285-22-9111
- エニスホール(火曜休館) 0280-57-2000
- とちぎ岩下の新生姜ホール(水曜休館) 0282-23-5678
- TSUTAYA自治医大店(1階ブックカウンター) 0285-44-7637
- チケットペイ <https://www.ticketpay.jp/>



公演は各50分
① 10:30(開場) 11:00(開演)
11:50(終演予定)
② 14:00(開場) 14:30(開演)
15:20(終演予定)

小山市立文化センター
大ホール

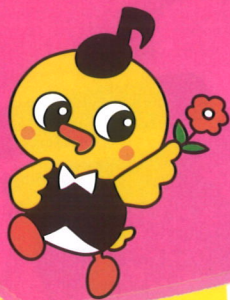
主催:東京21世紀管弦楽団 共催:小山市立文化センター 協賛:
後援:小山市教育委員会・小山市文化協会・下野新聞・テレビ小山放送

KUMON

お問い合わせ:
東京21世紀管弦楽団(03-6269-9921)
<https://www.21phil.jp/>

—— 子どもから大人まで楽しめるプログラム ——

- ♪ アンパンマンのマーチ
- ♪ ビゼー:「アルルの女」第2組曲から“メヌエット”“ファランドール”
- ♪ ドヴォルザーク:スラブ舞曲集第1集から第1番
- ♪ プッチーニ:歌劇『ジャンニ・スキッキ』より「私のお父さん」
- ♪ シュトラウスⅡ:「春の声」作品410
- ♪ アンダーソン:
シンコペイテッド・クロック/ワルツィング・キャット(踊る仔猫)
- ♪ チャイコフスキー:
バレエ組曲「くるみ割り人形」から“行進曲”
“あし笛の踊り”“トレパック”“花のワルツ”
- ♪ 鉄腕アトム



※曲目は都合により変更になる場合がございます。
ご了承ください。



お届け便

東京21世紀管弦楽団

音楽を通して、多くの人達と手を携え、今までの固定観念にとらわれない新しい時代の「楽しいオーケストラ」を目指して演奏活動を進めて行くプロフェッショナルなオーケストラとして2019年に設立。浮ヶ谷孝夫(ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト首席客演指揮者)を音楽監督に迎え、定期演奏会では、ベートーヴェン、ブラームス、ブルックナー、シューベルトといった重厚なドイツ音楽で圧倒的な成功を収めている。また、青少年のための音楽鑑賞会の依頼公演に出演するほか、教育的活動にも積極的に参加し、多彩で幅広い音楽活動を展開している。クラシック音楽を広く普及させる自主公演、定期公演は東京芸術劇場を拠点とし、紀尾井ホール、サントリーホール、東京オペラシティアンサンホールなど都内の主要なホールで活動している。2019年オスカール新人賞を受賞したテノールのステファン・ポップ、オペラ界のビッグスター、ファン・ディエゴ・フローレス、ヴィットリオ・グリゴロとの共演。2021年、オペラシティにて行われたベートーヴェン「第九」は、満席の聴衆を魅了し大成功を収めた。2022年6月、第18回ショパン国際コンクール第3位入賞のマルティン・ガルシア・ガルシアとの協奏曲の夕べ、同年8月東京国際フォーラムホールAでのミュージカル「ラ・ラ・ランド」6回公演、11月オーチャードホールで「BBC PROMS」に出演し好評を博した。12月東京芸術劇場にて「第九」公演は多くの聴衆から高く評価された。2023年1月「ホセ・カレーラス&プラシド・ドミンゴ」コンサートに出演し好評を博した。5月、4年ぶりに開催された「ラ・フォル・ジュルネ・TOKYO 2023」に出演。活動の場を広げている。



宮松重紀 (指揮)

横浜生まれ。横浜国立大学を卒業後、東京藝術大学指揮科を首席にて卒業。指揮を山田一雄、遠藤雅古の各氏に師事。イタリアのキリアーナ音楽院では、ロジストヴェンスキーに師事。東京二期会等のオペラ公演において、小澤征爾、チョン・ミョンフン、大野和士らの下に公演に参加。2008年にはミラノ・スカラ座にて研修を経験し、現地での公演にも参加し研鑽を積む。これまでに、東京フィルハーモニー交響楽団・東京交響楽団・東京シティフィルハーモニック管弦楽団・神奈川フィルハーモニー管弦楽団・仙台フィルハーモニー管弦楽団をはじめ、国内主要オーケストラでの公演や、新国立劇場をはじめ全国各地でオペラ公演でも指揮し好評を博す。また、東京オペラシンガーズとの関係も大変深く、ウイーン・フィルハーモニー来日公演(小澤征爾指揮)、サントペテルブルク・フィル(テミルカーノフ指揮)、シカゴ交響楽団(ムーティ指揮)、NHK交響楽団、東日本大震災チャリティー・コンサート「第九」(ズービン・メータ指揮)はじめ、国内での定期演奏会等に合唱指揮者として客演する。クラシック以外にも活動を広げており、エイベックスから東京フィルによるアニメ音楽のCDが発売されている。東京藝術大学大学院オペラ専攻講師、東京音楽大学指揮科講師を経て、現在、東邦音楽大学声楽科講師、横浜国立大学の講師として、後進の育成に情熱を注いでいる。



西口彰子 (ソプラノ)

小山市出身。宇都宮女子高等学校卒業、東京藝術大学卒業後渡米。マネス音楽院修士課程及びプロフェッショナル・ディプロマコース修了。2011年「ナクソス島のアリアドネ」イスラエル公演ナヤーデ役にてオペラデビュー。アメリカ、ドイツ、イタリアにて活動し、数々のコンクールに入賞。ラインラント＝プファルツ州立フィルハーモニーと共演、アルゲマイネ紙に「光り輝く高音、心地よいビブラート、声のしなやかさによって聴衆は誰もが息を呑んだ。」と評される。小山市立文化センター「アーティストと創るプロジェクト」において2度公演を企画、成功させる。(2021年チェロ8+ソプラノ、2023年クレオパトラ)歌を通して心身の動きに深い興味を持ち、2019年英国アレクサンダー・テクニク協会公認教師資格を取得。2020年に得度を受け、修行を積む。2023年日蓮宗僧侶資格を取得(僧名:彰影)。演奏活動はもちろん、全国より芸術鑑賞会、講演会、ワークショップの依頼を受け活動している。国本学園非常勤講師(令和2~4年度)、妙蓮寺副住職(小山市)、小山評定ふるさと大使、とちぎ未来大使。一児の母。

©伊藤一平

